

第9回 新城地域協議会 会議録（要約）

日 時	平成27年2月17日（火） 午後7時 ～ 午後8時40分
場 所	新城市勤労青少年ホーム2階 集会室
出席者	委員23名（欠席者なし） 事務局 3名
傍聴人数	なし
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>（1）新城地域協議会運営（分科会の設置）について</p> <p>3 その他</p> <p>（1）新年度委員について</p> <p>（2）地域自治区予算防災資機材について</p> <p>（3）地域活動交付金募集について</p> <p>（4）防災交流会について</p>
	<p>1. 開会</p> <p>本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名（大倉委員・近藤委員）</p> <p>2. 議事</p> <p>（1）新城地域協議会運営（分科会の設置）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動交付金と自治区予算の議論をより質の高いものにつなげていくため、それぞれに分科会を設置するという方向性について議論を行った。 <p>方向性として、平成27年度第1回地域協議会で審査前の分科会を設置する準備を行うこととなった。</p> <p><主な意見等></p>
委員	<p>私がイメージしていたのは、なかなかここでは判断しにくいということについて審議するというので、事務局から色々なデータが紙ベースで出てきたりしますが、それを見て審議しようとしても難しいので、もう少しデリケートな所まで知っていないとそれが良いのか、悪いのか、適正なのかということがわからないから、組織的な検討機会をつくったらどうかという考え方です。地区から様々な意見が挙がってきて審議しますが、もう2年間やってきたのだから、もう一段階上の段階へいくようなものを審議した方が良いのではないかと思ったのがきっかけです。</p>
委員	<p>分科会では、他の委員が客観的に判断できるようにするための議論をしてもらうと思うのですが、分科会のスケジュール的には無理がないようにできるのですか。</p>

事務局	<p>分科会は、少人数で事業についての課題や実施可能性などを整理する機会と考えています。これにより、全員で集まる検討をスムーズに行うことができると思います。会議の回数については、例えば、年間を通して行う会議のうちの1回を削って、分科会を行うのであるとか、分科会に参加する方のみ1回会議の数を増やすであるとかこれから調整ができると思います。分科会の設置に当たって議論するところではありますが、スケジュールや委員のみなさんの負担も考慮して今後検討することになりますので、その場合には事務局としても一番良い方法を考えて、提案していきたいと思います。</p>
会長	<p>地域活動交付金の分科会を考える場合、スケジュールや会議の持ち方などは、事務局はどのようなイメージを持っていますか。</p>
事務局	<p>交付金は2つのパターンを考えています。1つは、審査会でのプレゼンテーションと質疑応答、最終審議をうまく行うことができるようにするために、審査会よりも前に行うというもの。もう一つは、審査会を終えた後、その反省点を踏まえて審査方法や審査基準について議論し、次につなげていくという2パターンです。</p>
委員	<p>私は、方法論を言っているのではなくて、地域協議会が活発な議論をできる場になってほしいと思っています。そのためには、こういう全体でフラットな形での議論では、なかなか意見がまとまらなかったり、長くなってしまったりもったいないなという気がしていました。せっかく大勢の方が時間をとって来ていただいても、意見が活発に出なければ、まちの活性化につながっていかないと思います。分科会をつくるということが目的ではなくて、分科会により色々な意見が出ることによって、まちが良くなっていくということですから、みなさんが意見を持ち寄って議論をするために分科会という方法でも良いと思っています。私の真意はそこです。</p>
委員	<p>2年間やってきて感じたことは、プレゼンテーションが始まって一発勝負で審査するということが非常に短い時間で判断しなければならないと思います。何らかの形で分科会をつくるということは、事前に大勢の人数ではなくて少人数で、勉強会をして、ある程度の方向性を出して、全体の地域協議会にかけてから審査に臨むということにした方がやりやすいと思います。自治区予算についても同じことが言えるのですが、地域自治区でやるべきか、市の部署でやるべきことなのかの判断が、地域協議会で出た意見だからといって、地域自治区予算で行うという方に走ってしまわず、関係部署と協議の上、決めていくような方向にしていく。これも分科会で話し合ってもらえれば良いと思います。</p>
委員	<p>私が思うに、要するに細かくみんなと詳細に話ができない。急に</p>

<p>会長</p>	<p>話題を挙げられて十分に検討ができないということが根幹にあると思うのですが、会議の回数をもう1、2回増やすことでかえって二度手間にならないのではないかと考えます。そうすれば分科会ということにはならないと思います。私は会議の回数が少ないと感じます。</p> <p>会議の回数を増やすということは、スケジュール的には、委員の都合が問題なだけで実施することは可能だと思いますが、あとは予算の関係で、会議数が増えることにより予算増になりますから、その辺が問題になるのではないですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>実際には、新城地域自治区は今年度9回という結果ですが、他の地区では多いところで12回開催したところもあります。やはり会議の回数が増える分、委員さんの負担が増えるということになりますので、分科会によって役割分担ができるようにもなり、効率よく議論するというだけでなく、費用面でもメリットが出てくるのが分科会方式と考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり、ちょっと踏み込んだ形の会議を持った方が良いのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>自治区予算も交付金も分科会というと、ちょっと負担が大きいかなという気がします。だから、交付金の方だけ分科会をつくってもらったことを考えてもらった方が、みなさんの負担が小さくて済むのではないかと思います。まずは交付金の分科会をつくってもらって、それを見てやっぱり自治区予算の方も必要だということであれば、それはその時の話だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今の委員の負担については、事務局の方で、なるべく負担軽減できるように舵とりをしていってもらえると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>例えば、22人の委員さんを11人ずつに分けて役割分担をするという方法もあるかと思いますし、手上げ制にして少数精鋭で課題を導き出していくというやり方もあると思います。分科会は、構成の仕方によって、一部の人に負担がかかっていくということがないように工夫することはできます。</p>
<p>会長</p>	<p>私が思うに、この2年間全て予算の範囲内でありましたので、何とか来てしまっているのではないかと。もしも、オーバーしていたらどういう風にやっていったら良いのかという問題が出てくると思います。全部の交付率を80%にすれば良いとかそういう問題ではなくて、これについてはもっと経費を削減できるのではないかなというように、プレゼンターとそんなやりとりをする中で、審査をするということになれば、今までのやり方では到底無理ということになりますので、そうすると事務局が色々とアイデアを出してくれ</p>

委員 会長	<p>て、それに対して皆さんで議論ということになってしまう。だから、それを分科会の中で考えてから皆さんに提示してどの方法にしようかというような、今までのやり方では難しくなっていくのだろうと考えています。</p>
事務局	<p>分科会の数が増えるということはありませんか。</p> <p>それはありえると思いますが、最初からあまりたくさん分科会というのはちょっとどうかと思います。</p>
会長	<p>交付金と自治区予算でまずは考えていきたいとは思っていますが、増えていくかということについては、例えば、昨年度、空き家対策についての諮問が出されましたが、空き家の調査結果をまとめて答申のたたき台を作りましょうという分科会をつくることもできるわけで、いかに全体の地域協議会を良い議論で行えるかというための手法ですので、必要に応じてつくっていくという意味では、課題ごとに増える可能性はあります。</p> <p>私の思うところは、皆さん地域協議会委員という大事な職責として受けてくださっていると思いますが、それぞれに皆さん仕事があったりします。その中で、先ほどありましたけれども、議論の質を高めることは非常に大事なことだと思います。しかし、そのために今以上に全体に負担がかかっていくということがありますので、その辺りの制度設計をしなければいけないと思います。みなさん、この仕事が専一ではないと思いますから、みなさんの負担をできるだけ軽減するための一つの工夫ということでの分科会ということならばわかりますが、負担が増えていくということになりますと長い目で見ますと難しいことになっていくと思います。来年度、第1回の会議でどのように分科会をつくるかということで議論したいと思います。</p>
事務局	<p>分科会を立ち上げるとして、平成27年度の交付金の審査のための分科会をつくるということになった場合、第1回の地域協議会で深い議論ができないとスケジュール的に難しくなってしまうと思います。新委員さんも含めての議論となりますので、そのような準備をしたいと思いますので、イメージとして審査の前なのかどうかだけ、今確認をさせていただきたいと思います。</p>
	<p>採決により、地域活動交付金審査会前の分科会設置に向けて、平成27年度第1回新城地域協議会で検討することとなった。</p>

【終了】